

令和3年度第3回富士見市いじめのない学校づくり委員会  
会議録要旨

【日時】 令和4年2月14日（月） 14:00～15:00

【開催場所】 富士見市教育委員会 会議室

【出欠状況】

小林	塚田	長堀	忽滑谷	森田
○	○	—	○	○

【事務局】

学校教育課長。教育相談室長、指導主事

【次第】

1 開 会
2 教育委員会あいさつ
3 委員長あいさつ
4 報告事項
(1) ①富士見市における暴力行為やいじめ・不登校等の状況について (令和3年度第2回生徒指導に関する調査結果より) ②令和3年度及び令和4年度いじめのない学校づくり子ども会議について
(2) 長欠・不登校児童生徒の実態と今後の対応について
(3) 次年度の取組について
5 事務連絡
令和4年度の開催予定について
・第1回富士見市いじめのない学校づくり委員会 令和4年 6月20日（月） 14:00 富士見市教育委員会会議室
・第2回富士見市いじめのない学校づくり委員会 令和4年10月17日（月） 14:00 富士見市教育委員会会議室
・第3回富士見市いじめのない学校づくり委員会 令和5年 2月13日（月） 14:00 富士見市教育委員会会議室
6 閉 会（副委員長）

**【議事】**

(1) 令和3年度及び令和4年度いじめのない学校づくり子ども会議について

**【事務局】** 令和3年度の『いじめのない学校づくり子ども会議』では「ネットによるいじめをなくすために自分たちができることは何か」について話し合い、オンラインを使って発表を行った。子どもたちの意見として「ネット上でも思いやりが大切」「ネットのルールやマナーを決めたほうがよい」など、建設的な意見が出された。これを踏まえ、令和4年度の取組について、ご意見を伺いたい。

**【委員】** ネットのやり取りは、子どもだけの世界でとても心配なことが多い。メール文も短文で、意味が伝わりきらないことが多い。

**【委員】** ネットの世界は大人が介入しづらい。子どもたちが自らの身を守る必要がある。

**【委員】** 中学生だけでなく、小学生でもゲームの課金をめぐるトラブルが起こっており心配な面がある。

**【事務局】** ネットの問題は多岐にわたり、今回だけでなく今後も継続的な取組が必要になると思うが、何か今後の参考になるものはないか。

**【委員長】** 子どもたち自身に「メールで言われたら嫌なことランキング」など、自分たちがされたら嫌なことをあえて発表させて、自分たちで気をつけるためのルールやマナーを作っていく必要があるのでは。

**【委員】** 大人も子どもの目線に立ってみることが必要では。大人も身をもってネットの怖さを知る必要がある。

**【委員】** クラスで話し合ってみるとよい。子どもたちの中から切実な意見が出てくる可能性もある。

**【委員】** 数年前に、ネットのルール作りを行ったが、新たにルール作りを行ってもよいのでは。

**【委員長】** 令和4年度も引き続き、ネットの問題を取り上げ、ルールやマナーについて話し合う形に持っていくのがよいのではないだろうか。

**【議事】**

(2) 長欠・不登校児童生徒の実態と今後の対応について

**【事務局】** 令和3年度は、過去2年間と比較しても、30日以上の長期欠席者が小・中ともに増えている。特に中学校ではその増加が顕著である。このことについて、今後の対策等のご意見を伺いたい。

**【委員】** コロナへの対応が当たり前になっていて、低・中学年は、マスクを着用することが当たり前だと思って学校生活を送っている。今までの普通の生活を再開させるときには、相当な支援が必要ではないだろうか。

**【委員】** コロナで欠席している児童生徒へのオンライン授業など、ICTを活用した対応も考えられるが、実際は学校の先生方の負担は大きい。

**【委員】** コロナ禍で不登校児童生徒が増えたことで先生方の仕事も増え、さらにオンライン授業となると先生方の働き方改革と矛盾する点が出てくるので難しい。

**【委員】** 今後は、不登校児童生徒への対策としてのICTの活用も考えられるが、先生方の負担との兼ね合いは十分に配慮していく必要がある。